

## 0650 | 彫塑 II

2 単位（面接授業 2 単位）

伊藤誠教授、黒川弘毅教授、戸谷成雄教授

## 授業の概要と目標

現実的（アクチュアル）な世界は、「変化して止まぬ不定性」と「揺るぎない不動性」という両面性を持つ。彫刻の制作には、この両面への探究が不可欠である。触覚はしばしば言われているような手で触れる感覚ではない。見えないが、実在的（リアル）な対象であるエモーション（情動）を実体化する働きを持ち、正確には「内触覚」と呼ばれる。量塊は、内触覚の働きによって、豊かな両面性を獲得する。この課題は、量塊の問題について考察し、立体表現を追求する。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

課題として用意された詩・短歌等を契機として、作品制作を試みる。

詩・短歌等の言葉を造形的に解釈し、粘土塑造と石膏型取り、及び石膏彫刻により作品を制作する。

## 授業計画

## [面接授業]

第1日 午前：オリエンテーション 午後：技法説明  
 第2日 午前・午後：制作  
 第3日 午前・午後：制作  
 第4日 午前・午後：制作  
 第5日 午前・午後：制作  
 第6日 午前：清掃・展示 午後：講評

## 成績評価の方法

出席の状況を確認しながら、提出し展示された作品の内容を担当教員と講師により合議の上、採点評価を定める。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 「造形基礎Ⅰ～Ⅳ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること（3年次編入学生を除く）。

[備考] なし

## 教材等

教材は実習時に配付する。道具は実習時に指示する。